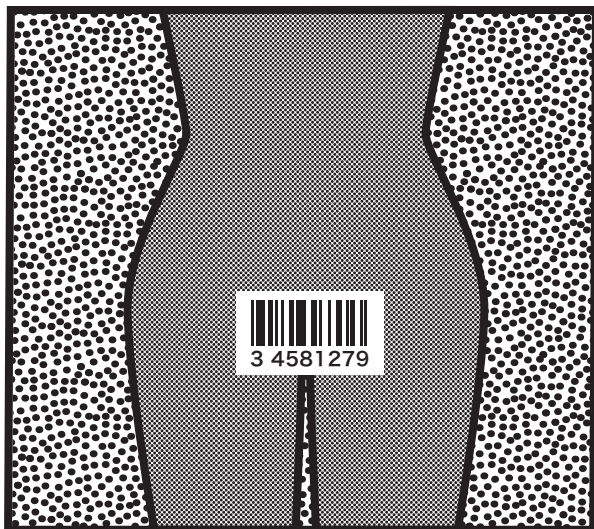


日本とオーストラリアから見た 性売買



「性売買の人権侵害性と日本の現状」

中里見 博さん（大阪電気通信大学教員）

「オーストラリアにおける性売買の状況」

キャロライン・ノーマさん（ロイヤルメルボルン工科大学上級研究員）

今から 10 年前、ポルノ・買春問題研究会（APP 研）の結成 10 周年と「性暴力を許さない女の会」の 20 周年を記念して、「ポルノ被害と表現の自由」というテーマでシンポジウムを開催しました。あれから 10 年。それぞれの団体は活動を継続し、それぞれ 20 周年と 30 周年を迎えることになりました。その間に、AV 強要問題が社会的に大きくクローズアップされ、政府をも動かす事態になり、また、世界的な #MeToo 運動の中で、刑法の性犯罪規定の改正やフラワーデモなどの新しい動きも起こっています。しかし、性売買そのものを人権侵害だと考える風潮は弱く、メディアやアカデミズムの世界ではセックスワーク論がまかり通っています。こうした状況に抗するため、今回、性売買の問題を正面から取り上げます。日本の現状のみならず、性売買がおおむね合法化されているオーストラリアの現状もテーマにします。ぜひご参加ください。

- 日時 2020 年 2 月 11 日（火・祝） 13 時 30 分～17 時（開場は 13 時）
- 場所 ドーンセンター（大阪府男女共同参画・青少年センター）4F 大会議室 1
- 参加費 1000 円 ＊「性暴力を許さない女の会」維持会員の方は無料です。

お問い合わせ 性暴力を許さない女の会 TEL 06-6322-2313（毎週火曜日 夜 7～9 時のみ）